

【国語・中2「複数の情報を関連づけて考えをまとめ、投稿文を書こう」】①

育成を目指す資質・能力

- (知識・技能)・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解することができる。[(2)ア]
- (思・判・表等)・表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだすことができる。[B(1)オ]
- ・文章と図表などを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈することができる。[C(1)ウ]
- (学びに向かう力等)・言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。

ICT活用のポイント

〈共有〉〈試行錯誤〉を促す小集団での推敲の支援

〈データ蓄積〉〈可視化〉につながる振り返り

【つかむ】共生社会の実現について自分の考えを投稿文にまとめるといふ単元の見通しをもつ。
複数の情報を関連づけて考えをまとめ、投稿文を書こう

【追究する】自分の考えの根拠となる資料や文章を読んで投稿文を書き、推敲して仕上げる。

【まとめる】清書した投稿文を読み合う。

事例の概要

○学習支援ソフトを用いて書いた投稿文を小集団で読み合って推敲し、それぞれのよい点や改善点を見つける。

【事例におけるICT活用の場面①】

○①グラフから読み取れる内容であるか、②説明と具体例の関連性(つながり)は分かりやすいかという2つの観点により、小集団で投稿文を推敲する。

【事例におけるICT活用の場面②】

○振り返りを表計算ソフトで記述・回答させ、データ化して蓄積するとともに、教師からの評価を毎時間、フィードバックする(双方向のやりとり)。

○授業でのアドバイスコメントを基に、家庭で学習支援ソフトを用いて清書した投稿文をクラスで読み合う。

【国語・中2「複数の情報を関連づけて考えをまとめ、投稿文を書こう」】②

【事例におけるICT活用の場面①】

〈共有〉〈試行錯誤〉を促す小集団での推敲の支援



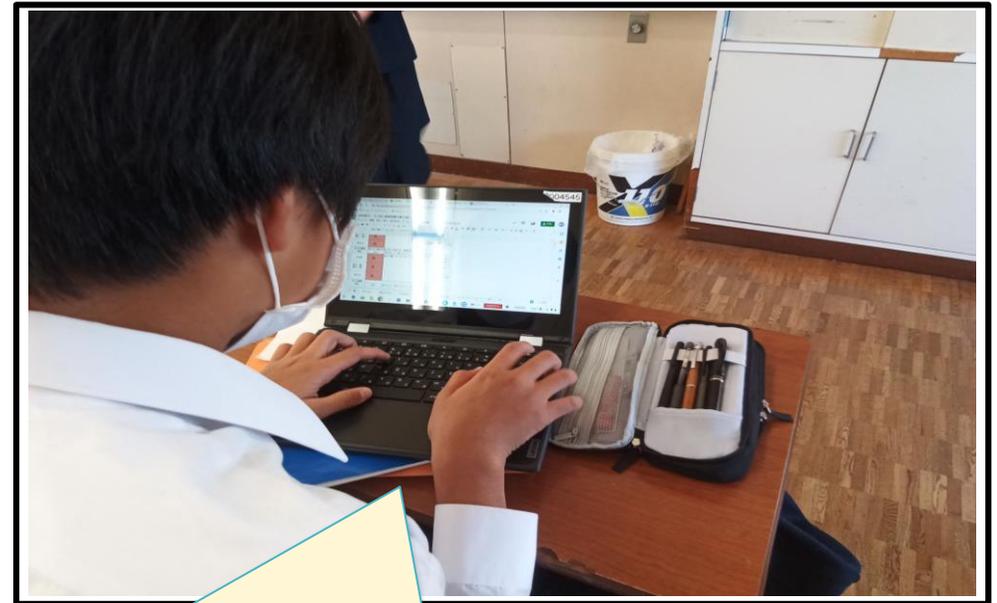
画面を見ながらお互いのよさや改善点をすぐに何度でも共有できるので、とても便利！

◆小集団で投稿文を推敲する場面

○学習支援ソフトを用いて、個で考えたよい点(青)と改善点(赤)を画面上の原稿にマーキングさせる。マーキングした根拠をグループで話し合わせることで、明確な改善案を見いだせるようにする。

【事例におけるICT活用の場面②】

〈データ蓄積〉〈可視化〉につながる振り返り



毎時間、何を学んでどうだったか、一目で分かる！先生からの返しもあって励みになる！

◆本時の学習を振り返る場面

○事前に表計算ソフトを用いて、単元全体の振り返りシートを作成しておき、毎時間の振り返りを記入させる。それを次時まで評価できるよう、教師のコメントも数パターンを予めシートに設定しておく。

【活用したソフトや機能】・学習支援ソフト

・表計算ソフト